

2022.02.10

大輪八重咲きのトルコギキョウに新品種追加 高温期でも栽培しやすく、需要の高い白色品種の種子発売

- トルコギキョウで需要の高い八重咲き・白色品種の種子を営利生産者向けに発売
- 秋出荷の高温期栽培で、秀品率の高い切り花が期待できる晩生品種



サカタのタネは、大輪セミフリル八重咲きで、晩生の白色トルコギキョウ新品種『リオ ホワイト』（旧名称 SM8-851M）=写真=を開発し、4月下旬から営利生産者向けに種子の販売を開始します。トルコギキョウで流通量の大半を占める八重咲きに、高温期でも栽培しやすい白色品種が追加されます。

『リオ ホワイト』は、花径約8cm、花弁にやわらかくフリルのあるセミフリル種です。八重咲きの中でも花形が豪華なフリンジ・セミフリル咲きは、ウエディングなどの業務需要が高く、特に白色は汎用性があるため切り花が周年で流通しています。同品種は、トルコギキョウの栽培がしづらい高温期でもチップバーンが発生しにくいいため生育力があり、枝数・草丈もとれやすく、秋にボリュームのある切り花を供給することができます。さらに、低温で日照量が少ない時期でも、プラスチックが発生しづらく開花性にすぐれるため、秋出荷での切り残り減や秋から延長しての出荷も期待できます。品種名の「リオ」は、国内外・男女を問わず人の名前が使われており、覚えやすく親しみやすいこと、また「リオ」と聞くと“暑い”「リオのカーニバル」が想像されますが、“暑い”高温期でも品質のよい切り花が栽培できる、同品種の特徴になぞらえて命名しました。『リオ ホワイト』の希望小売価格^{※1}は、ペレット種子^{※2}1袋1,000粒、5,000円（税抜き）です。全国のJA、種苗店を通じて、2022年4月下旬から販売します。

※1 価格は全て希望小売価格（税抜き）です。価格の自主的な決定を拘束するものではありません。

※2 コーティング種子ともいう。細かな種子や形が不ぞろいな種子を、粘土など自然に溶ける被覆資材で包んだもの。粒子を大きく均一にしてあるので、播種機でまきやすくなる。

●株式会社 サカタのタネ 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台 2-7-1
●<https://www.sakataseed.co.jp>